

新県立大学全体のポリシー（案）

（本大学の使命は、将来の日本を背負って立つ人間の育成である）

○アドミッション・ポリシー

高い目標に挑戦しようとする意欲、向上心、そして夢をもった人、社会のために積極的に貢献することをいとわない人を歓迎します。

○カリキュラム・ポリシー

英語集中授業、全員必修の海外プログラム、ディスカッション重視の総合教育、ゼミ形式による少人数教育、人間形成の場となる全寮制などを通じて、一人一人の資質に合わせた身につく教育を行います。

○ディプロマ・ポリシー

新たな時代を切り拓く逞しさ、グローバル社会に適応できる柔軟性と広い国際的視野、地域社会の振興に寄与するイノベーション創出能力、他者を思いやる豊かな人間性。こうした力を備えた、社会のリーダーを輩出します。

総合マネジメント学部 総合マネジメント学科 各ポリシー（案）

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

総合マネジメント学科では、組織を動かして、物事を変えていく力を身に付け、グローバルな視野を持ち、地域の人と資源を生かして事業を展開できるビジネスリーダー、地域課題を解決する政策や公共的サービスの企画立案ができる地域社会のリーダーの育成を目的としています。

そのため、次のような入学志願者を求めています。

- ・ 幸せな地域社会を築いていく高い意欲と志を持っている人
- ・ 世界の情勢に関心を持ち、グローバルな視野で活躍することをめざしている人
- ・ 社会をよい方向へ改善するため、新たなことに挑戦する意欲を持っている人
- ・ ビジネス経営や行政など公共的な経営を通じて、地域の課題を解決したいと考えている人
- ・ 広く高等学校卒業レベルの基礎学力、及び大学での学習に必要な日本語・英語の運用能力を持っている人

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

総合マネジメント学科では、グローバルな視野を持ち、地域にイノベーションを創出できる力を育成することを主眼として、以下の特徴を有したカリキュラムを編成しています。

- ・ ビジネス経営や公共経営に必要な基礎的な知識・技能を習得し、地域にビジネスを創出する、あるいは、地域課題の解決に取り組むことのできるイノベーション力、マネジメント力を育成する科目体系
- ・ 現場体験を通じて、企業や地域の実情について深く学び、地域の課題を自ら発見し、解決することをめざす課題探求型授業
- ・ 異文化体験による視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム
- ・ ビジネスや世界の地域との協働のために必要な実践的英語力を身につける英語集中プログラム
- ・ 対話を通じた主体的な学びを促す少人数ゼミの充実

3 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

総合マネジメント学科では、グローバルな視野を持ち、地域の人と資源を生かして事業を展開できるビジネスリーダー、地域課題を解決する政策や公共的サービスの企画立案ができる地域社会のリーダーの育成を目的としています。

このため、以下に示す能力や知識、技能を身につけ、卒業に必要な単位数を取得した者に学位を授与します。

- ・ビジネス経営、公共経営に関する知識、論理的思考力を持ち、多様な視点から、地域の課題を解決する力
- ・地域に暮らす様々な人や団体、世界の地域と協働し、成果を上げることのできるマネジメント力とリーダーシップ
- ・多様性の中から新たな価値を生み出し、地域にイノベーションを創出するための幅広い教養と挑戦する実践力
- ・グローバルな視野を持ち、異なる文化を尊重し共生していくための理解力とコミュニケーション力

健康発達学部 食健康学科 各ポリシー（案）

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

食健康学科では、健康に関する幅広い知見と、栄養学を中心とした食物（調理含む）や人の体と心に関する高度な専門的知識、技術を併せ持ち、それらを総合的に理解して、他者と豊かなコミュニケーションを構築し、全ての人々の健康やQOL（生活の質）の向上に寄与する食と健康のプロフェッショナルを育成することを目的としています。そのため、次のような学生を求めています。

- ・人と食をこよなく愛し、楽しく豊かな食を創造できる人
- ・人々の生命を支える食の営みを、科学的に探究することに情熱のある人
- ・人とのコミュニケーションを大切にし、食を通して他者を幸せにできる人
- ・長野県の健康長寿の発展に貢献し、国際的にも活躍したいと考えている人
- ・栄養学の土台となる化学や生物などの基礎学力を身につけている人

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

食健康学科では、健康に関する幅広い知見と、栄養学を中心とした食物（調理含む）や人の体と心に関する高度な専門的知識、技術を習得するために、「総合教育科目」「外国語科目」「人文科学」「社会科学」「自然科学」等）と「専門科目」「導入教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」に大別した教育科目を配置し、基礎から応用へと系統的、段階的に習得できるように構成しています。資格としては、栄養士免許、管理栄養士の国家試験受験資格のほか、栄養教諭一種免許状を取得できる科目を配置しています。少人数教育により、教員と学生が一体となって、教育・研究に取り組みます。そのため、以下の特徴を有したカリキュラムを編成しています。

- ・学生が主体的に学ぶ姿勢を培う
- ・基礎と実践の関係性を意識した教育を展開する
- ・コミュニケーション能力やリーダーシップを涵養する
- ・自ら課題を発見し、論理的、総合的に解決する力を育成する
- ・海外プログラムを通じて、異文化体験による視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成する

3 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

食健康学科は、健康に関する幅広い知見と、栄養・食物（調理含む）・人の体と心についての高度な専門的知識・技術を習得して、倫理観に則って活動することができる食と健康のプロフェッショナルを育てることを目的としています。

以下に示す能力や知識、技能を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・ 高度な専門的知識と技術を身につけ、論理的、科学的に考察する力
- ・ 人とのかかわりを大切にし、食を通して人々の健康を支える力
- ・ 生涯にわたり、主体的な学びを継続し続ける力
- ・ グローバルな視野を持ち、地域に食と健康に関するイノベーションを創出する力
- ・ 管理栄養士としての倫理観に則り、ミッションを達成できる力

健康発達学部 こども学科 各ポリシー（案）

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

こども学科では、広い識見を有し、地域の環境を生かした保育を創造するとともに、保育や子育てをめぐる課題解決を図ることができる高度な実践力と専門性を持った保育・幼児教育のトップリーダーの育成を目的としています。意欲と情熱を持って保育を学び、保育士・幼稚園教諭の資格・免許を取得して、新しい保育を創造し、地域に貢献したいという意欲を持つ学生を求めます。そのため以下のアドミッション・ポリシーのもとで入学者選抜を行います。

- ・子どもを愛し、その幸せを実現する意欲と志を持っている人
- ・子どもの健やかな成長・発達を支援する環境や教育について、科学的に探究し、行動する習慣と粘り強さを持っている人
- ・幼稚園教諭免許、保育士資格を取得し、その専門性を生かして地域に貢献したいという意欲を持っている人
- ・自ら求めて考え、行動し、協働しながら学び、より良い保育を創造する多様な資質を持っている人
- ・保育や子どもについて学び、実践するための学力や適性を有する人

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

こども学科では、ディプロマ・ポリシーにしたがって広い識見を有し、地域の環境を生かした保育を創造するとともに、保育や子育てをめぐる課題解決を図ることができる高度な実践力と専門性を支える知識と技術を習得することを主眼としてカリキュラムを編成しています。そのため、以下の特徴を有したカリキュラムを編成しています。

- ・保育・幼児教育の基盤となる自然や文化、地域的な特徴などの環境について学び、そこに成り立つ保育や教育のあり方について広く学ぶ教育プログラム
- ・保育の基礎的な知識や技能を獲得し、子どもの主体性や表現力を育成する保育を展開するための知識や技能、組織のあり方などについて学ぶ科目体系
- ・子ども、子育ての状況や課題について広く学び、今日的な課題の実践的理解と課題解決力を醸成する科目の充実
- ・新しい保育の創造に求められる主体的学びを促す双方向による少人数ゼミの充実

- ・学修によって身につけた知識や技能を専門的立場から社会に還元する幼稚園教諭免許や保育士資格が取得できる養成プログラム
- ・異文化体験による視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム

3 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

こども学科は、乳幼児期の子どもとその保育・教育について、保育学、教育学を基礎として広い視野から子どもの健やかな育ちを支える関連諸科学について学びます。特に、グローバルな視点をあわせもった広い識見を有し、地域の環境を生かした保育を創造するとともに、保育や子育てをめぐる課題解決を図ることができる高度な実践力と専門性を持った保育・幼児教育の担い手の育成を目的としています。以下に示す能力や知識、技能を身につけ、卒業に必要な単位数を修得した者に学位を授与します。

- ・健やかに子どもが育つための課題を明らかにし、地域や社会の特性を生かした保育を創造する専門的知識と支援力
- ・保育や教育の場で子どもと保護者を支え、より良い子育て・子育環境を創造する論理・実践力
- ・乳幼児期の子どもを理解し、豊かな表現力と感受性をもって乳幼児にふさわしい保育・教育を総合的に計画・展開する力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決する基礎としてのジェネリックスキル